

釧路工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語
科目基礎情報						
科目番号	0019		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学分野		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	テキスト：セレクトプラス英語構文76（文英堂） 参考書：1.総合英語フォレスト（桐原書店） 2.インスパイア総合英語（文英堂） 3.チャート式新総合英語（数研出版） 4.問題集：英語構文85（浜島書店）					
担当教員	田村 聡子					
到達目標						
簡単な文章を英語で記述したり英語でコミュニケーションを円滑に行うための基礎的能力を養うために、 1.教科書で扱われている英語構文の意味を理解できる。 2.教科書で扱われている英語構文を使って英文を作ることができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	文章の中で使われている構文の意味を十分理解できる。		構文の使われている英文の意味を十分に理解できる。		ヒントが与えられても構文の使われている英文の意味が理解できない。	
評価項目2	構文を使って、英文で自分の考えを書くことができる。		日本語が与えられれば、構文を使って英文を書くことができる。		テキストに例文として挙げられている英文を部分的にも言うことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 F						
教育方法等						
概要	英語構文用の教科書を用いて、英語検定準2級レベルの英語力を身に付けるために必要とされる基本的な英語構文を学習する。 また、演習問題を通してその定着を図る。 これらのことにより、論理的な英文の組み立てや表現力を養い、読解力の向上を図る。 学習した英語構文を用いて基礎的なコミュニケーション能力を養う。					
授業の進め方・方法	教科書のほかに自主教材を配布し文法問題の解説をし演習問題を行う。配布された文法の解説プリントをもとに基礎構文の理解を図る。 1) 合否判定で用いる成績評価は定期試験の平均が100%である。 ○「英語」の評価方法について ・習熟度別授業の成績と分野・グループでの授業の成績の平均点に0.8を乗じて、それに英語検定準2級の結果による評価点（合格者：2.0点、1次合格までの合格者：1.7点、1次試験不合格で正答数3.9以上の者：1.4点、正答数2.7以上3.8以下の者：1.0点、正答数2.6以下の者：0点）を加算した点数を「英語」の成績としこの点数により合否判定を行う。6.0点以上で合格である。最終評価は合否判定点と同じである。 ○「英語」の再試験について ・「英語」の評価で合格点に達しなかったものを対象に再試験を実施するが、実施者は習熟度別授業の担当教員である。 ・前関連科目：英語（2年） ・後関連科目：英語（4年）					
注意点	その日の授業で扱う英語構文について演習問題を実施する。各Unitで提示された英語構文の解説をよく理解し、教科書で与えられた練習問題だけでなく授業中に実施された演習問題にも真剣に取り組んで欲しい。既習した構文を忘れないように復習すること。教材として配布されたプリントや演習問題は教科書の補足、確認となるものなので必ずファイル化し保存管理すること。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 第1章		文型を理解できる。	
		2週	第2章 第3章（1）		Itを含む構文と不定詞の基礎的構文を理解できる。	
		3週	第3章（2）		不定詞を含む様々な構文を理解できる。	
		4週	第4章（1）		形容詞としての分詞を理解できる。 分詞構文の基礎を理解できる。	
		5週	第4章（2）		分詞構文の作り方を理解できる。 分詞構文を含む慣用表現を理解できる。	
		6週	第5章（1）		動名詞の基礎を理解できる。	
		7週	第5章（2）		動名詞を含む構文を理解できる。	
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	第6章（1）		助動詞の基礎を理解できる。	
		10週	第6章（2）		助動詞＋have＋過去分詞の用法を理解できる。	
		11週	第7章（1）		無生物主語構文の基礎を理解できる。	
		12週	第7章（2）		無生物主語構文の発展的な内容を理解できる。	
		13週	第8章（1）		関係詞の基礎的用法を理解できる。	
		14週	第8章（2）		関係詞の非制限用法を理解できる。	
		15週	第8章（3）		複合関係詞の基礎を理解できる。	
		16週	前期期末試験:実施する			
後期	3rdQ	1週	第9章（1）		接続詞を含む構文の基礎を理解できる。	
		2週	第9章（2）		仮定法を含む構文の発展的な内容を理解できる。	
		3週	第10章（1）		比較を表す構文の基礎を理解できる。	

		4週	第10章（2）	比較を表す構文の発展的な内容を理解できる。
		5週	第11章（1）	仮定・条件を表す構文の基礎を理解できる。
		6週	第11章（2）	仮定・条件を表す構文の発展的な内容を理解できる。
		7週	第11章（3）	仮定・条件を表す構文の発展的な内容を理解できる。
		8週	後期中間試験:実施する	
	4thQ	9週	第12章	時・理由を表す構文を理解できる。
		10週	第13章	目的・結果などを表す構文を理解できる。
		11週	第14章	譲歩を表す構文を理解できる。
		12週	第15章（1）	否定を表す構文を理解できる。
		13週	第15章（2）	否定を表す構文の発展的な表現を理解できる。
		14週	第16章（1）	特殊な構文を含む内容を理解できる。
		15週	第16章（2）	特殊な構文を含む内容を理解できる。
		16週	後期期末試験:実施する	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略（ジェスチャー、アイコンタクト）を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略（ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど）を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0